

地域ネットワークニュース

～平成26年5月の勉強会のお知らせ & 平成26年4月の勉強会報告～

第196回 地域ネットワーク勉強会

「障害者職業センターの役割と就労支援」

講師：茨城障害者職業センター（茨城県笠間市）
障害者職業カウンセラー 佐々木よしえ 氏

5月22日(木)
午後7時～午後9時
神栖市保健・福祉会館内
参加費無料

障害者職業センターは、専門的な職業リハビリテーションを実施するとともに、地域の関係機関に対して、職業リハビリテーションに関する助言・援助を行う、障害者雇用促進法に定められた機関です。

障害者職業カウンセラーはセンターに配置される専門家で、障害者に対して職業評価、職業指導、職業準備訓練及び職場適応援助等の各種の職業リハビリテーションを個々の状況に応じて実施します。また、事業主に対しても、障害者の雇入れや雇用継続、職場復帰等の支援や雇用管理に関する助言や情報提供を行います。

今回の勉強会では障害者職業センターの役割と障害者個々に応じた職業評価の流れ、具体的な相談事例から考える就労に向けた事前準備の重要性、長く働くためのポイントなど、障害者が就労し、仕事を継続するために必要なことを伝えて頂きます。

保護者の皆様、特別支援教育コーディネーター、支援機関の職員、企業人事担当の方など、障害者の就労支援に携わる関係機関の方々の参加をお待ちしております。



お問い合わせ：神栖市社会福祉協議会 地域福祉推進センター 担当：三浦 電話 0299-93-0294



第195回 地域ネットワーク勉強会報告

平成26年4月24日開催

『発達障害者の就労とその支援について』

<参加者38名>

講師：茨城県発達障害者支援センター

大野真裕 氏(センター長/臨床心理士)

就労準備は、自立のための準備の一つであり、「自立」とは「全部、自分で、障害のない人と同じようにできることだけを自立というのではない。できない部分について環境の工夫や周囲の援助があってもよい。必要な時に他者の援助を求めることができることも自立です」と基本的な自立の考え方についての説明がありました。

そして、障害者の就労支援を進めるためには、本人の能力、障害の特性を理解することが最も大切になります。特に、発達障害のある人は発達のアンバランスさが大きく、得意なところと苦手なところの差が著しいために、個別に理解し、ひとりひとりの違いに合わせて支援する必要があることを具体的な事例を通じて伝えて頂きました。

実際の講義内では障害の特性からみる支援、配慮の様々な事例紹介があり、個々の能力と特性を理解することが如何に大切なことなのかを再認識する機会となりました。